

nikko am

Nikko Asset Management

グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド(年2回決算型)

<愛称 グローバルMaaS(年2回決算型)>

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第8期（決算日2024年7月22日）

作成対象期間（2024年1月23日～2024年7月22日）

第8期末（2024年7月22日）

基準価額	10,491円
純資産総額	3,992百万円
第8期	
騰落率	20.0%
分配金（税込み）合計	1,000円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（年2回決算型）」は、2024年7月22日に第8期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、「グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<645016>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

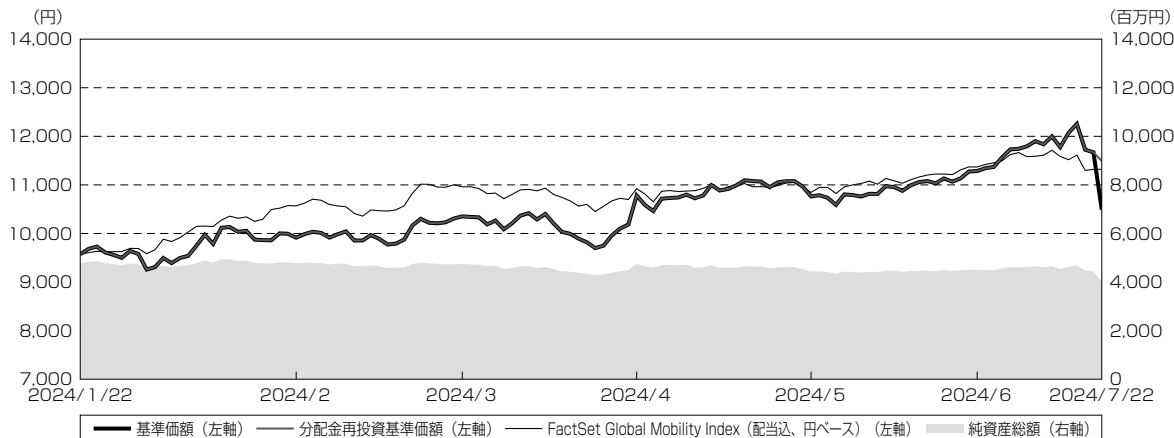
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年1月23日～2024年7月22日)



期 首 : 9,573円
 期 末 : 10,491円 (既払分配金(税込み) : 1,000円)
 騰 落 率 : 20.0% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびFactSet Global Mobility Index(配当込、円ベース)は、期首(2024年1月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) FactSet Global Mobility Index(配当込、円ベース)は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているモビリティ・サービス関連企業の株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・人工知能(AI)の急速な発展によって半導体製品の需要が高まったことや、大型テクノロジー株が力強く上昇したこと。
- ・自律型電気自動車テクノロジーへの投資が拡大し、技術的な進展が見られたこと。
- ・地政学的な緊張の高まりから、航空宇宙および防衛製品の需要が拡大したこと。

・アメリカドルなど主要通貨に対して円安が進んだこと。

<値下がり要因>

- ・米国連邦準備制度理事会（F R B）議長が高金利政策の長期化を示唆するなど、高金利の長期化が見込まれたこと。
- ・一部の保有銘柄において企業業績が市場予想を下回り、株価が低迷したこと。
- ・フランスの株式市場が、解散総選挙後に政治の先行き不透明感が強まり下落したこと。

1万口当たりの費用明細

(2024年1月23日～2024年7月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 100	% 0.957	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(49)	(0.465)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(49)	(0.465)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受託会社)	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.023	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(2)	(0.023)	
(c) 有価証券取引税	1	0.005	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(1)	(0.005)	
(d) その他費用	4	0.038	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用等)	(3)	(0.025)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標章使用料など
合 計	107	1.023	
期中の平均基準価額は、10,445円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

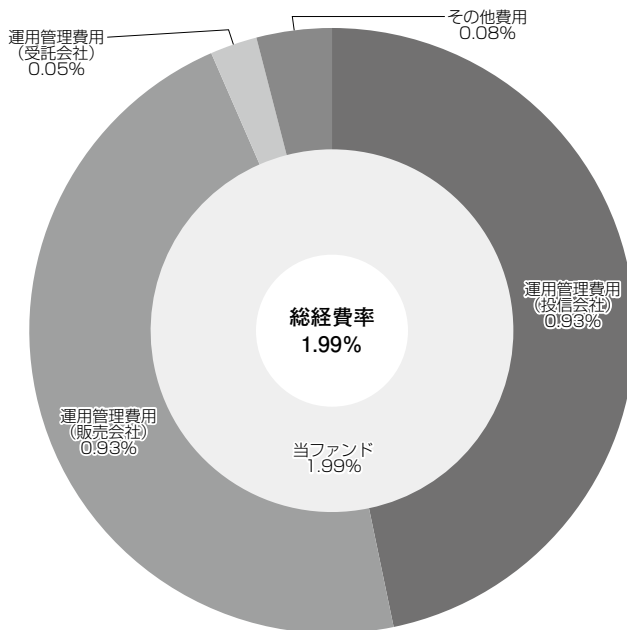
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.99%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

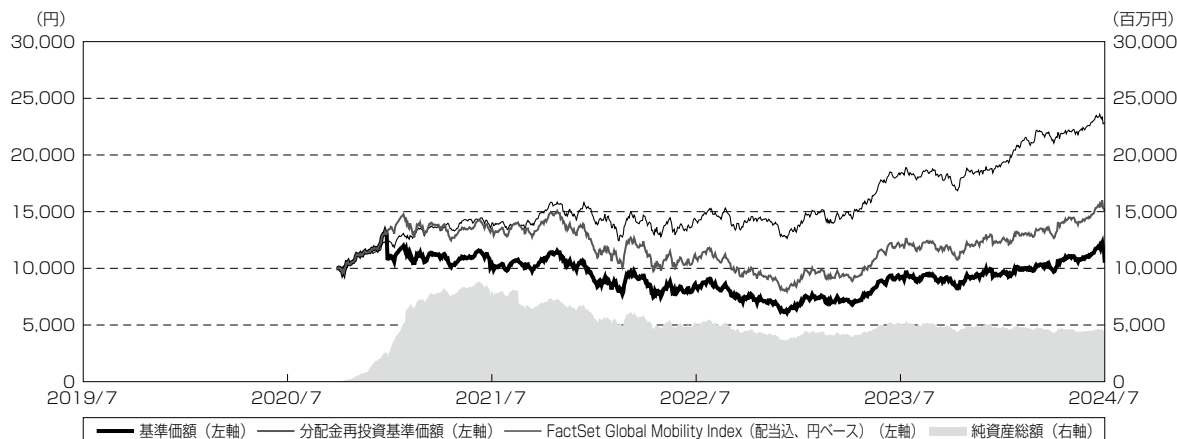
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2019年7月22日～2024年7月22日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) FactSet Global Mobility Index(配当込、円ベース)は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 当ファンドの設定日は2020年10月21日です。

	2020年10月21日 設定日	2021年7月20日 決算日	2022年7月20日 決算日	2023年7月20日 決算日	2024年7月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,085	8,310	9,305	10,491
期間分配金合計(税込み) (円)	—	3,100	0	0	1,000
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	31.7	△17.6	12.0	23.5
FactSet Global Mobility Index (配当込、円ベース) 騰落率 (%)	—	35.5	5.3	29.1	23.8
純資産総額 (百万円)	10	7,589	5,061	5,167	3,992

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2021年7月20日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) FactSet Global Mobility Index(配当込、円ベース)は当ファンドの参考指数です。
参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

(2024年1月23日～2024年7月22日)

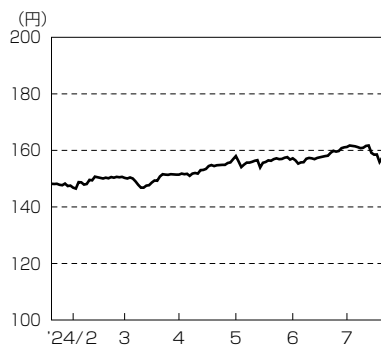
(株式市況)

株式市場は、強弱入り混じる経済の兆候やF R Bの次の政策動向を巡る見通しに左右される展開となり、ボラティリティ（変動性）の高い環境となりました。経済指標や雇用指標が堅調を維持する一方、インフレ指標は徐々に減速し始めました。期間中は、高金利がより長期にわたって継続するとの懸念や消費者心理が低迷するかもしれないとの懸念が株式市場の重しとなったものの、最終的には逆風を乗り越り上昇しました。米国の超大型テクノロジー企業を中心に、収益の底堅さが追い風となって力強く上昇し、さらに最近では中小型株へのローテーションが進んだことで選好の広がりが見られています。

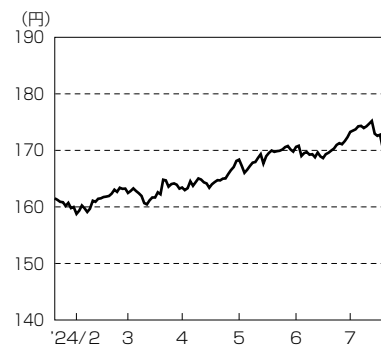
(為替市況)

期間中における主要通貨(対円)は、右記の推移となりました。

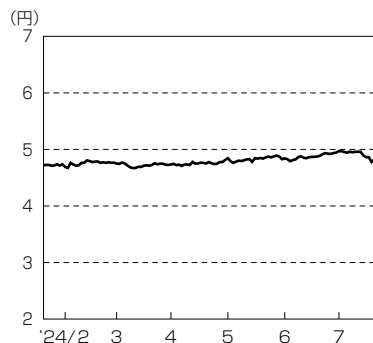
円／アメリカドルの推移



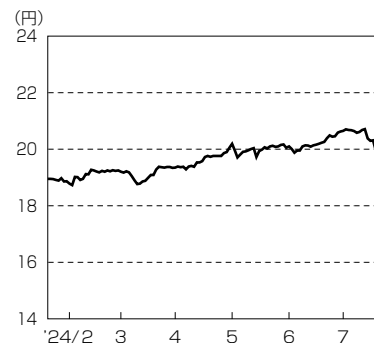
円／ユーロの推移



円／新台幣ドルの推移



円／香港ドルの推移



当ファンドのポートフォリオ

(2024年1月23日～2024年7月22日)

(当ファンド)

当ファンドは、「グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド)

期間中の当ファンドの基準価額は、上昇しました。アクティブ運用を行なう当ファンドでは、マクロ経済の状況を引き続き見通して、ポジションを適宜縮小・集約していく方針です。通常、市場が大幅に下落する局面でポートフォリオを集約し、市場が拡大する局面で銘柄数を増加しますが、足元の保有銘柄数を考慮すると、ポートフォリオをさらに集約することは考えていません。

期間中の主な投資行動としては、アプティブ（自動車・自動車部品）を全売却しました。直近の決算説明会における、自動運転専門の合併事業への資本配分をやめて持ち分を引き下げる選択肢を探るとの経営陣の発表を受けて、保有を解消しました。

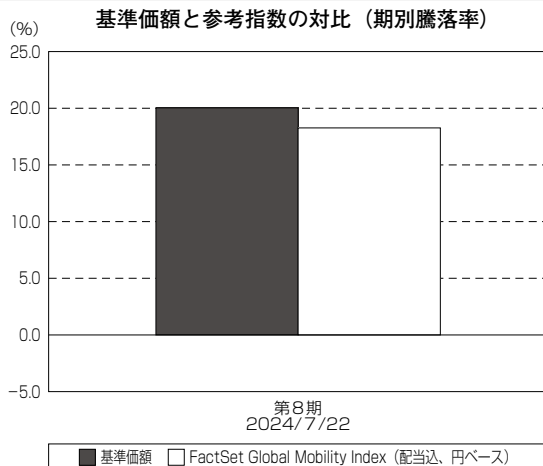
また、Velo3D（資本財）についても、より確信度の高い銘柄へ投資するために保有を解消しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年1月23日～2024年7月22日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税込み)込みです。

(注) FactSet Global Mobility Index (配当込、円ベース)は当ファンドの参考指数です。

分配金

(2024年1月23日～2024年7月22日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第8期
	2024年1月23日～ 2024年7月22日
当期分配金	1,000
(対基準価額比率)	8.702%
当期の収益	960
当期の収益以外	39
翌期繰越分配対象額	490

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド)

当ファンドでは、自動運転による「サービスとしてのモビリティ (Ma a S)」が今後5年～10年の公開株式市場における最も貴重な投資機会の1つとなりうるとみています。自動運転による「サービスとしてのモビリティ」は、自動運転のタクシー・プラットフォームにより2地点間の移動をより安く、より便利に、より安全なものとする個人的なMa a Sから、自動運転の電気トラックとドローンにより、現在に比べてごくわずかなコストで納品できる「サービスとしての物流」にまで及びます。このようなプラットフォームから経済的生産性の変革促進が加速し、その結果として、伝統的な自動車産業は当該プラットフォームに組み込まれていくものとみられます。技術主導によるイノベーションと費用曲線の低下に伴う一定のデフレ圧力によって、自動運転による「サービスとしてのモビリティ」のプラットフォームを開発または可能にする企業については、売上数量の伸び、生産性、収益性が高まると考えられます。対照的に、従来型自動車製造企業の多くは、過去10年の間に実店舗を主力とする従来型小売がネット販売に押されたのと同様にバリュートラップ（割安株が割安のまま放置され期待リターンが得られにくくなる）に陥る可能性があります。当ファンドでは、自動運転Ma a Sプラットフォームへの転換を遂げられる自動車企業とテクノロジー企業に投資して、その恩恵を享受できるよう努めていきます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

2024年1月23日から2024年7月22日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

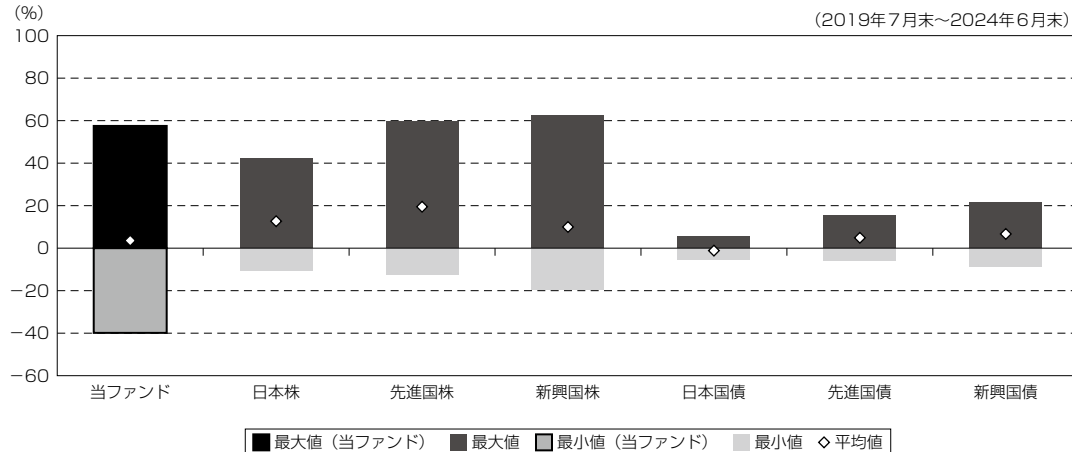
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2020年10月21日から原則無期限です。	
運用方針	主として、「グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド(年2回決算型)	「グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているモビリティ・サービス関連企業の株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、財務健全性、流動性などを勘案して行ないます。株式の実質組入比率は、高位を維持することを基本とします。外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。基準価額水準が1万円（1万口当たり）を超えている場合には、分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2019年7月末～2024年6月末)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	57.5	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値	△39.9	△10.8	△12.4	△19.4	△5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	3.6	12.7	19.5	10.0	△1.2	4.9	6.7

- (注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
 (注) 2019年7月から2024年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2021年10月以降の年間騰落率を用いております。
 (注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
 (注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
 《各資産クラスの指数》
 日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)
 先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)
 新興国株：MSCIエマーシング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)
 日本国債：NOMURA-BPI国債
 先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)
 新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)
 (注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドの参考指数について

●FactSet Global Mobility Index (配当込、円ベース)

FactSet Global Mobility Indexは、ファクトセット社が開発した世界のモビリティ製造およびサービス関連企業の株式で構成された指数です。主にモビリティ製造、小売およびサービス、旅客運送、貨物輸送及び物流、モビリティ拡張技術関連の企業を中心としています。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマーシング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2024年7月22日現在)

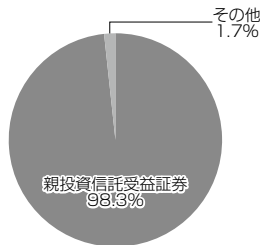
○組入上位ファンド

銘柄名	第8期末
	%
グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド	98.3
組入銘柄数	1銘柄

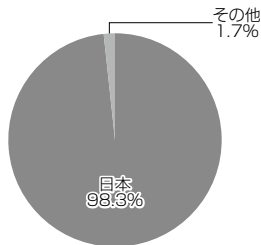
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

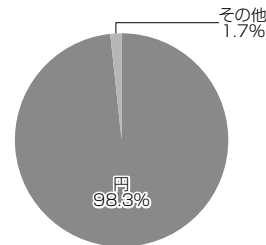
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

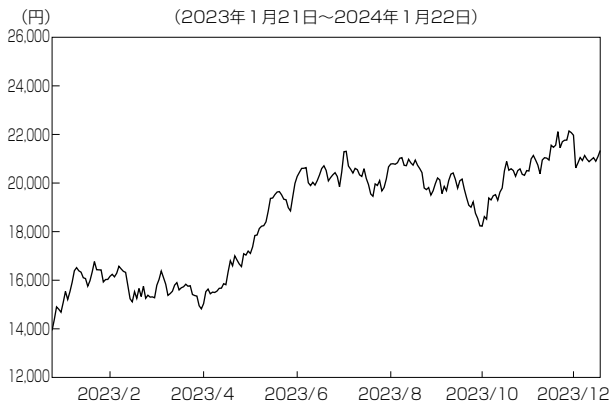
項目	第8期末
	2024年7月22日
純資産総額	3,992,840,499円
受益権総口数	3,806,036,678口
1万口当たり基準価額	10,491円

(注) 期中における追加設定元本額は37,807,338円、同解約元本額は1,227,923,039円です。

組入上位ファンドの概要

グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年1月21日～2024年1月22日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	10 (10)	0.055 (0.055)
(b) 有価証券取引税 (株式)	1 (1)	0.004 (0.004)
(c) その他費用 (保管費用)	3 (3)	0.018 (0.018)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	14	0.077

期中の平均基準価額は、18,486円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2024年1月22日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 TERADYNE INC	半導体・半導体製造装置	アメリカドル	アメリカ	8.8%
2 TRIMBLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカドル	アメリカ	7.8%
3 TESLA INC	自動車・自動車部品	アメリカドル	アメリカ	7.5%
4 KRATOS DEFENSE & SECURITY	資本財	アメリカドル	アメリカ	6.3%
5 UIPATH INC - CLASS A	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	5.2%
6 AEROVIRONMENT INC	資本財	アメリカドル	アメリカ	4.3%
7 ARCHER AVIATION INC	資本財	アメリカドル	アメリカ	4.1%
8 ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	3.6%
9 DASSAULT SYSTEMES SE	ソフトウェア・サービス	ユーロ	フランス	3.3%
10 DEERE & CO	資本財	アメリカドル	アメリカ	3.0%

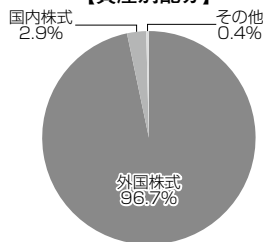
組入銘柄数 36銘柄

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

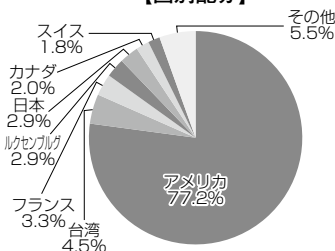
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

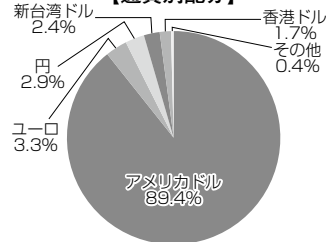
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド (年2回決算型)

【貸借対照表】

(単位：円)

	第7期 2024年1月22日現在	第8期 2024年7月22日現在
資産の部		
流動資産		
預金	－	5,089,095
コール・ローン	119,426,324	107,770,926
親投資信託受益証券	4,713,144,796	3,926,196,366
未収入金	48,795,709	397,087,614
未収利息	－	254
流動資産合計	4,881,366,829	4,436,144,255
資産合計	4,881,366,829	4,436,144,255
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	－	380,603,667
未払解約金	47,525,016	17,222,570
未払受託者報酬	1,375,827	1,262,554
未払委託者報酬	46,780,288	42,929,052
未払利息	36	－
その他未払費用	2,708,947	1,285,913
流動負債合計	98,390,114	443,303,756
負債合計	98,390,114	443,303,756
純資産の部		
元本等		
元本	4,996,152,379	3,806,036,678
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金 (△)	△213,175,664	186,803,821
(分配準備積立金)	19,994,711	106,965,319
元本等合計	4,782,976,715	3,992,840,499
純資産合計	4,782,976,715	3,992,840,499
負債純資産合計	4,881,366,829	4,436,144,255

【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第7期		第8期	
	自	2023年7月21日 至 2024年1月22日	自	2024年1月23日 至 2024年7月22日
営業収益				
受取利息		78		27,135
有価証券売買等損益		180,407,180		894,272,514
営業収益合計		180,407,258		894,299,649
営業費用				
支払利息		12,135		356
受託者報酬		1,375,827		1,262,554
委託者報酬		46,780,288		42,929,052
その他費用		1,177,995		1,285,913
営業費用合計		49,346,245		45,477,875
営業利益又は営業損失(△)		131,061,013		848,821,774
経常利益又は経常損失(△)		131,061,013		848,821,774
当期純利益又は当期純損失(△)		131,061,013		848,821,774
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額(△)		△1,396,454		121,225,232
期首剰余金又は期首欠損金(△)		△385,761,054		△213,175,664
剰余金増加額又は欠損金減少額		47,624,774		52,986,610
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		47,624,774		52,113,123
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		－		873,487
剰余金減少額又は欠損金増加額		7,496,851		－
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		－		－
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		7,496,851		－
分配金		－		380,603,667
期末剰余金又は期末欠損金(△)		△213,175,664		186,803,821